平成23年度 実施計画作成・事務事業評価(事後評価)シート

|実施計画

<u>1 基本事項</u>

部等名	政策経営部		課等名	総務認	果	記入者	名	兒島 :	靖彦	内線	205
事務事業名	人材育成基本	方針見直	-	事業期間	平成	22	年度	~ 平	成	年度	
総合計画上の	基本方針	健全で効果	率的な行政運	営を推進する	るまちづ	くり					
松石町画上の 位置付け	施策	時代の変々	化に対応した	行政運営体制	制の構築						
	細 施 策	時代に即り	応する人材の	育成							
根拠法令・条例、関連計画等 人材育成基本方針、研修基本方針											
予算細々目名	名				会計	款	項	目	細目		
職員研修費	費 (講師招聘研	肝修 接退	見・クレームタ	付応研修)	01	02	01	01	06		

2 事務事業の目的(何のためにするのですか)

地方分権の進展により、自治体間競争の激化、住民ニーズの複雑化等に対応でき得る職員の育成が自治体における喫緊の課題となっている。そのため、人材育成基本方針及び研修基本方針に基づき、職員の資質向上、勤務意欲の維持・向上を図るとともに、市民に対し、より質の高い行政サービスを提供できるよう人材育成を多方面から、継続的に実施する必要がある。

接遇は、永遠に研究すべき課題であることから、接遇・クレーム対応研修を通して、よりよい住民応対のため職員のスキルアップを目指すもの。

3 事務事業の概要

H22年度の事業概要	H23年度の 事業概要・計画	H24年度の事業計画	H25年度の事業計画
第一法規株式会社への委託 研修により実施(対象:各 支所、教育委員会、水道 課)、2日間実施	第一法規株式会社への委託 研修により実施(対象:産業 振興部、建設部)		趣旨を前年度に引き続い て、継続実施予定(市民福 祉部、前年未受講者)

4 事務事業の対象・手段・意図

<u> </u>	₹1	为于未少对多一丁权。尽凶	
	対象	(誰・何に対して行う事業ですか)	手段(対象に対してどのような活動を行うのですか)
	職員		接遇向上のための外部委託研修の実施

意図(活動により対象をどのような状態にしたいのですか)

地方分権の進展により、自治体間競争の激化、住民ニーズの複雑化等に対応でき得るように、職員の資質向上、 勤務意欲の維持・向上を図るとともに、市民に対し、より質の高い行政サービスを提供できる人材を育成する。 接遇能力、クレーム対応から接遇能力の向上を目指すもの。

事務事業評価(事後評価) 1<u>指標の推移</u>

区	分	指	標	名	単位	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	最 年度	と終目標 目標値
活動	1		参加人員		人	58	50	50	50		
指標	2		対象部署		課	支所、教委、 水道課	産業振興部、 建設部、前年 未受講者	政策経営部、 前年未受講者	市民福祉部、 前年未受講者		
成果	1	市長への	り手紙(苦	情)の数	件	4	4	3	3		
指標	2										

2	評	価
_	HI	1144

	剔	1)	多加入負		50	30	30	30			
ŧ	亦	2	対象部署	課	支所、教委、 水道課	産業振興部、 建設部、前年 未受講者	政策経営部、 前年未受講者	市民福祉部、 前年未受講者			
1	₹	1	市長への手紙(苦情)の数	件	4	4	3	3			
才木	旨票	2								l	
	※ 活動指標・・・事業内容を示す数値(ボランティア講座開催回数、道路整備延長距離など) ※ 成果指標・・・施策・事務事業の目的達成度を示す数値(ボランティア実施者数、渋滞緩和率など)										
2		※ <i>評</i>)目的:	達成度を示す	「数値(ホフン	ケイア実施す	首致、 渋滞緩	相楽な	(ع)	
				ないで	·すか						
	ı		な _い ^{理由}								
			────────────────────────────────────				、さらに苦情	「0」を目指	计努力	は必要であ	
ラ ト	効 生	Į.	・ 廃止・休止した場合の影響はる	ありま	: すか						
			ある理由								
	ľ		ない継続し、計画的に研	修する	うことにより、	多くの職員の	の接遇能力が	維持・向上さ	れると	:考える。	
		J.	成果指標を下げずにコスト削液	咸の余	地はないで	すか					
			ない理由	少時治	よぶ去り狙フィ	ど がかし イフ	TT 6夕+※ 人 ナ、三几	はファ し云	松油子	hrtの###	
	ı		委託先により、多少 ある 改善が見込まれると考		似か有り侍るス	ア、 桃桃 し (4	州修機会を 設	りることで、	按迺刈	がの維持、	
類似事業の有無と統合の可能性はないですか(市以外の取組含む)											
2	率	□ な い ^{理由} 代替として、吉田町自治研修センター「身に付けたい接遇実践(1泊2日)」へ派遣させるには、									
1	生		■ ある								
		Ī	市と受益者との負担割合は妥	当です	か(受益者	負担がある場	湯合に記入し	してください	·)		
			は い 理由								
			いいえ								
	そ	f	也の市町村では、実施している	る事業	ですか						
(し の 也	Í	多くの他団体で実施している。								
3		今	後の方向性、改善案等	<u>(</u> —	次評価)						
	1.	今後	後の方向性(総合評価)			由、改善案等					
			拡大 ■ 継続 □ 改善 統合・縮小 □ 廃止・休止		返し継続して	修は、どれた 実施し、さら					
1_											
	1.	今後	後の方向性(総合評価)		方向性の理問	由、改善案等	<u> </u>				
			拡大 ■ 継続 □ 改善 統合・縮小 □ 廃止・休止			対応研修を通 ゚を目指し継続		い住民対応	ををする	るため職員	
<u></u>			後の方向性、改善案等		終評価)		4				
			後の方向性(総合評価)		カリ性の埋	由、改善案等	ŕ				
			拡大 ■ 継続 □ 改善 統合・縮小 □ 廃止・休止		次評価と同様	に継続とする	000				

5	今後の	万阿性、	<i>攻善 </i>	(
_	112.	// // // //	- N L /N 'I	

今後の方向性(総合評価)	方向性の理由、改善案等
□ 拡大 ■ 継続 □ 改善 □ 統合・縮小 □ 廃止・休止	二次評価と同様に継続とする。